



こんにちは、大島です。文章のみとなってしまいました。是非読んで頂けたら幸いです。

非常に残念なお知らせをしなければいけません。昨年の8月からカナダで留学生活を送っていましたが、このひと月でコロナウイルスがカナダ国内でも爆発的に拡大し、この度次世代リーダー育成道場7期生のプログラムが中止となり、緊急帰国しなければいけなくなりました。先月17日に、次世代の事務局からプログラム中止と緊急帰国の連絡が届いてから、状況があまりうまく飲み込めないまま、23日にホストファミリーと別れ、25日にはあっという間の帰国となってしまいました。

14日に通常通り春休み前の授業を終えて、春休みに入ったばかりのことでした。しかし、その直後の週末に、カナダ政府から外交官やパイロット、米国籍保有者を除く外国人の渡航禁止の命令が発表され、それに続く形で、BC州では非常事態宣言が発令、学校も無期限臨時休校の措置が取られました。さらに20日には米国との不必要な往来に関しても自粛要請が出され、国外からの人の流入をほぼ完全に抑えられました。このような状態がいつまで続くかわからず、しかも今よりもさらに厳しくなる可能性は十分考えられ、今回の帰国に繋がったことは言うまでもありませんし、それに関しては誰も責めることはできません。ただただ、やり場のない無念さや残念さが残るばかりです。

しかしながら、この7か月弱の間で経験してきたことは今回の帰国によって無くなるものはありません。やり切ったという達成感を味わうことはできませんでしたが、それでもやり残したと思うようなことはなく、後悔の気持ちはありません。ただ一つ、強いて挙げるとすれば、最後に友達とほとんど会えず、直接別れを言えないまま帰国になってしまったということだと思います。ビデオ通話等で離れていながらもお互いの顔を見られるとはいえ、やはり最後に対面で話すことが出来なかったことは非常に残念です。

それでも、この短い留学期間でめぐり会うことができ、家族の一員として自分を温かく受け入れてくださったホストファミリーには感謝の気持ちしかありません。また、こちらで出会え、一緒にたくさんを経験できた友人たち、留学生の自分を気にかけてくれていた先生方、さらに日本からたくさんの応援とともに送り出してくれた小石川の友人たちや担任団、国際部を始めとした先生方、そして、留学するという決断を尊重してくれた両親、親戚、その全員に感謝の気持ちを述べたいと思います。本当にありがとうございました。

これが僕が書く最後の留学だよりとなります。これまで留学だよりを読んでもらった皆様、本当にありがとうございました。